



・PTAとの校内環境整備 <11月8日(土)>

来校者 保護者48名

PTAが主催で、保護者・生徒・教師が協力して学校環境整備を行った。学校花壇を来年度春用に耕して球根や苗を植えたり、運動場周りの側溝の土砂を汲み上げたり、柵の蔓を取ったり、共に汗を流した。



④1年職業講話<10月28日(月)>

2年職場体験<11月13日(木)・14日(金)>

3年キャリアアップ講座<11月5日(水)>

来校者 1年地域関係者8事業所17名

2年地域関係者59事業所

3年地域関係者1名

総合的な学習の時間におけるキャリア教育の一環として、学年ごとに講師を招いたり、職場を訪問したりして学んだ。



<1年生職場講話の感想>

杉山建設さんの仕事の内容などを話していただいて、朝でも夜でもトンネルや水路、除雪、橋脚、砂防ダムなどの僕たちの身近にある建物を建ててくださっていることを知って、とても大変な仕事だと思いました。また、資格がいくつか必要だということも知りました。仕事も大変だけど、その前に資格を取ることとても大変だと思いました。

僕がお話を聞いて一番心に残ったことは、どんなにつらい仕事でもその中から喜びが生まれるということです。僕もどんなにつらいことでもがんばっていけるようになりたいです。僕は将来、土木関係の仕事に就きたいので、進路の参考にもなりました。

成果及び課題

(1) 成果

○例年と同じように、授業や合唱、その他の教育活動の公開を通して、保護者や地域の方に生徒の様子や学校の教育活動に関する理解を促すことができた。毎回、参観者へのアンケートを実施し、学校経営の重点とその進捗状況について生徒の姿を通して評価を受け、指導の効果や改善点を明らかにすることができた。また、参観の感想ではなく、参観者から見た「生徒のよい姿」を記述してもらい、職員で共通理解すると共に、生徒に返していくことができた。

○これまでも大切にしてきた地域行事・ボランティア活動、キャリア体験等については、今までの実績をもとに、事前の活動の紹介や現地での活動状況の把握を大切にすることで、生徒の参加意欲を向上させることができた。また、生徒の活躍を「学校だより」や「校内掲示」「校内放送」によって広報することを継続し、ボランティア活動のよさやすばらしさ(価値)を啓発することができた。

(2) 課題

▼「ふるさと教育週間」の趣旨に基づき、おおよその公開の形はできた。生徒が地域を知り、地域に貢献しようとする思いをさらに広げ、育てる中で、地域により愛される生徒となるように、保護者や地域の方との連携を深め、活動の見直しを図っていきたい。